

平成26年度事業別評価調書（チェックリスト）

整理番号	201	事業名	経営体育成基盤整備事業		補助・単独	地区名 (事業箇所名)	おや 小谷	関係 市町村名	会津若松市	担当部(局)領域 課名	農林水産部 農村基盤整備課				
評価の対象となる理由	第1項第5号： 計画変更を行おうとする事業				前回評価時の対応 方針	委員会からの提言：  付帯意見：		県の対応方針：							
事業根拠法・要綱等の名称	土地改良法第2条第2項														
事業の概要	[事業目的及び全体計画] ※ [ ] は事業採択(平成19年度)時 (1) 事業目的 本地区は会津若松市の南部に位置し、一級河川阿賀川左岸に展開する水田と畑が広がる農業地帯である。現況は未整備で農道は幅員が狭く、用排水路は土水路のため、施設の維持管理に多大な労力を費やし、農業水準の低い状況で営農されている。今回、本事業により区画の整理及び道路、用排水路の整備を行い、耕地の汎用化を図ると共に耕地の集団化を一体的に実施することにより、農業生産基盤の強化と担い手農家への集積・流動化を促進し経営規模の拡大を図る。さらに低コスト農業を目指し、地域農業の継続的な振興に寄与する事を目的とする。					事業に関する社会経済情勢(特記すべき事項) (1) 現在の状況 国の新たな食料・農業・農村基本計画に基づく「経営所得安定対策」は、担い手(認定農業者や集落営農組織)の経営安定化へ施策を集中・重点化することとなっており、本事業による担い手の育成と農地集積による経営規模拡大、更には転作作物の導入が可能となる生産条件整備が、地域営農の確立のために急務となっている。 (2) 変化の有無 有(無) (3) 変化の内容 - (4) 地域の協力体制等 地元では、当初計画より小谷地区事業推進委員会が設立され、工事着工後も工事・集積・換地委員会による積極的な活動協力のもと、円滑な事業進捗が図られている。 [事業に関連する評価指標等] (1) 主要な評価指標の変化									
	事業の採択年度		H19	完成目標年度	[H24] H28	用地着手年度	H19	工事着手年度	H19						
	事業費(百万円)	全体事業費(うち用地費)	これまでの投資事業費合計	左の財源内訳又は負担割合	これまでの年度別投資実績(26年度は見込額)										
	[ 412 ] 607 [( 36 )] ( 24 )	441 ( 12 )	国 55/100 県 27.5/100 市町村8.75/100 その他8.75/100	405 ( 11 )	24年度	25年度	26年度	9 ( 1 )	27 ( 0 )	40 ( 1 )					
進捗率	事業費ベース	72.6%	用地費ベース	50.0%	その他(整地面積 <sup>へ</sup> -λ)		72.1%								
事業の進捗状況	[整備の状況] 整地工については、平成25年度迄で72%(A=15.3ha)完了しており、平成26年度以降は整地工A=5.9ha、暗渠排水・道路工・用排水路工・確定測量・換地処分登記を予定している。 [事業実施上の課題や問題点、今後の事業見通し] 本地区は、平成19年度に事業採択され、区画整理を行うものとし事業を進めてきた。しかし、平成23年発生した東日本大震災に伴う工事の遅延や地区編入除外など一定地域の変更が生じたため区画形状の見直しを行うなどの理由から、事業工期を4年延長し、平成28年度事業の完成を図りたい。 [関連事業の進捗状況] - みなし執行額=(全体事業費)/(全体工期)×経過年数=607百万円/10年×7年=425百万円 みなし進捗率=(これまでの投資事業費計)/(みなし執行額)=441百万円/425百万円=103.8% (>70%)					※1 ほ場整備率は、会津若松市全体の値 ※2 担い手農家とは、認定農業者又は経営等農用地面積3.5ha以上の農業者で本地区内の経営体数 ※3 農地利用集積率は、本地区内農地面積に対する担い手農家の経営等農用地面積の割合 ※4 担い手農家数及び農地利用集積率の分子は実績値、分母は目標値 (2) その他特記すべき事項 特になし [環境への影響等] 希少野生動植物の情報に基づく対応 (実施)・未実施 (1) 環境への影響内容とその対策 ・工事実施にあたり、水質汚濁、土砂流出防止に努めている。 ・地区内に一部山地からの湧水が流入する場所があり、希少種であるホトケドジョウの生息が確認された場所については、水系等を変えず現在の土水路のまま残し、生息環境の保全を行っている。 ・分水工等に沈砂機能を設け淀みを作り、水生動物の生息に配慮する。 (2) その他特記すべき事項 ・地域内の一部に埋蔵文化財があり、これの調査と保護を図りながら事業を進めている。									
評価					A、 B、 C			評価					A、 B、 C		

平成26年度事業別評価調書（チェックリスト）

地元住民・受益対象者及び関係機関の意向	<p><b>【地元住民・受益対象者の意向】</b></p> <p>(1) 事業採択時の状況 従前は、未整備地域で道路幅員が狭く用排水水路は土水路であり、また用水源である溜池は堤体が崩壊し機能を果たしていない状況で、生産基盤としてのほ場条件は極めて低い状況であった。このため大型農業機械の導入が困難で、水管理をはじめとする営農面で多大な労力を要しており、ほ場整備事業の実施が強く要望されていた。</p> <p>(2) 評価実施時の状況 面的整備は約7割が終了し、地元住民・受益者も身をもって事業効果を実感しており、事業の早期完成を強く望んでいる。 今回の計画変更の概要を受益者に対して説明をして、合意を得ている。</p> <p><b>【関係機関・団体の意向】</b></p> <p>(1) 事業採択時の状況 本地区は、会津若松市水田振興計画に位置付けされており本事業により、農地の区画整理、農道や用排水路の整備等を進めることで、水田の汎用化と経営体の育成を図ると共に低コスト農業を実現するため、関係機関及び関係団体が一体となって事業推進を強く要望していた。</p> <p>(2) 評価実施時の状況 面的整備が進むにつれて営農形態が確立しつつあり、地域農業の継続振興が望めることから、関係機関及び関係団体では早期完成を強く要望している。</p>	計画変更の必要性・コスト縮減や代替案立案等の可能性	<p><b>【計画変更の必要性】</b></p> <p>(1) 必要性の有無                    <input checked="" type="radio"/> 有                    <input type="radio"/> 無</p> <p>(2) 計画変更の理由及び内容</p> <p>①事業採択からの地区編入除外に伴う区画変更と共に雑物除去（抜根等）処分量が実施に於いて増加し事業量の増となった。 ②畑地整地工に於いて、基盤切盛を実施した結果、礫混じり土が発生し耕作に支障が出たため除礫作業を追加したい。 ③地区内の畑団地の一部に埋蔵文化財エリアがあり、盛土計画として、当初他事業建設残土を見込んでいたが、土質が礫混じりで流用が困難なため、購入土へ変更したい。</p>								
	<p style="text-align: right;">評価    <input checked="" type="radio"/> A、    <input type="radio"/> B、    <input type="radio"/> C</p>		<p><b>【代替案立案の可能性】</b></p> <p>本事業計画は、農地区画形質の変更やほ場条件等の整備を行うものであり、代替案は考えられない。</p> <p style="text-align: right;"><b>【コスト縮減の取組等（特記すべき事項）】</b></p> <p>他事業残土や近傍の土取場を利用し可能な限りコスト縮減に努めている。</p>								
費用対効果分析等の要因	<p><b>【費用対効果分析等】</b></p> <p>(1) 手法 土地改良事業における経済効果の測定方法について (S60.7.1 60構改C第688号農林水産省構造改善局通達) (H19.3.28 18農振第1596号農林水産省農村振興局長通達) に基づく</p> <p>(2) 費用対効果の変化（小谷地区全体として分析）</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; text-align: center;"><b>【事業採択（平成19年度）時】</b></td> <td style="width:50%; text-align: center;"><b>【今回分析（平成26年度）時】</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <math display="block">B/C = \frac{463(\text{百万円})}{432(\text{百万円})} = 1.07(\geq 1.0)</math> </td> <td style="text-align: center;"> <math display="block">B/C = \frac{757(\text{百万円})}{741(\text{百万円})} = 1.02(\geq 1.0)</math> </td> </tr> </table> <p><b>【費用の変化等で特記すべき事項】</b> 工法変更（整地工：盛土材を建設残土から購入土へ変更）    167 百万円 事業量変更（区画の変更、石礫除去の追加、雑物除去の増）    95 百万円</p> <p><b>【需要効果の変化等で特記すべき事項】</b> 国の通達に基づく費用対効果分析手法の変更</p>	<b>【事業採択（平成19年度）時】</b>	<b>【今回分析（平成26年度）時】</b>	$B/C = \frac{463(\text{百万円})}{432(\text{百万円})} = 1.07(\geq 1.0)$	$B/C = \frac{757(\text{百万円})}{741(\text{百万円})} = 1.02(\geq 1.0)$	総合評価	<p><b>【総合評価と対応方針案】</b></p> <p>(1) 総合評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>本地区において担い手の育成や集積を促進し経営規模の拡大を図り、地域農業を継続振興のためには必要不可欠な生産基盤の整備であり、計画的な事業実施によって目標年度（平成28年度）に完了できる見込みがあるため、計画を見直した上で継続して事業を実施する必要がある。</p> </div> <p>(2) 対応方針及び今後の事業の進め方</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width:20%; text-align: center;">対応方針案</td> <td style="text-align: center;">見直し継続</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業の進め方</td> <td>地元との調整を図りつつ、可能な限りコスト縮減に取り組み早期事業進捗に努め、目標年度までの完了を目指す。</td> </tr> </table> <p>(3) 事業見直し継続、休止、中止する場合の対応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">平成26年度に計画変更を行いたい。</p> </div>	対応方針案	見直し継続	今後の事業の進め方	地元との調整を図りつつ、可能な限りコスト縮減に取り組み早期事業進捗に努め、目標年度までの完了を目指す。
	<b>【事業採択（平成19年度）時】</b>	<b>【今回分析（平成26年度）時】</b>									
$B/C = \frac{463(\text{百万円})}{432(\text{百万円})} = 1.07(\geq 1.0)$	$B/C = \frac{757(\text{百万円})}{741(\text{百万円})} = 1.02(\geq 1.0)$										
対応方針案	見直し継続										
今後の事業の進め方	地元との調整を図りつつ、可能な限りコスト縮減に取り組み早期事業進捗に努め、目標年度までの完了を目指す。										
<p style="text-align: right;">評価    <input checked="" type="radio"/> A、    <input type="radio"/> B、    <input type="radio"/> C</p>											

[位置図] 及び [事業概要図]

経営体育成基盤整備事業 農地整備事業(経営体育成型) 小谷地区



[位置図] 及び [事業概要図]

経営体育成基盤整備事業 農地整備事業(経営体育成型) 小谷地区

計画一般平面図

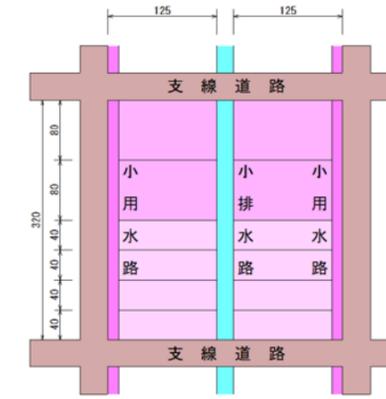
写真①整備された水田と農道



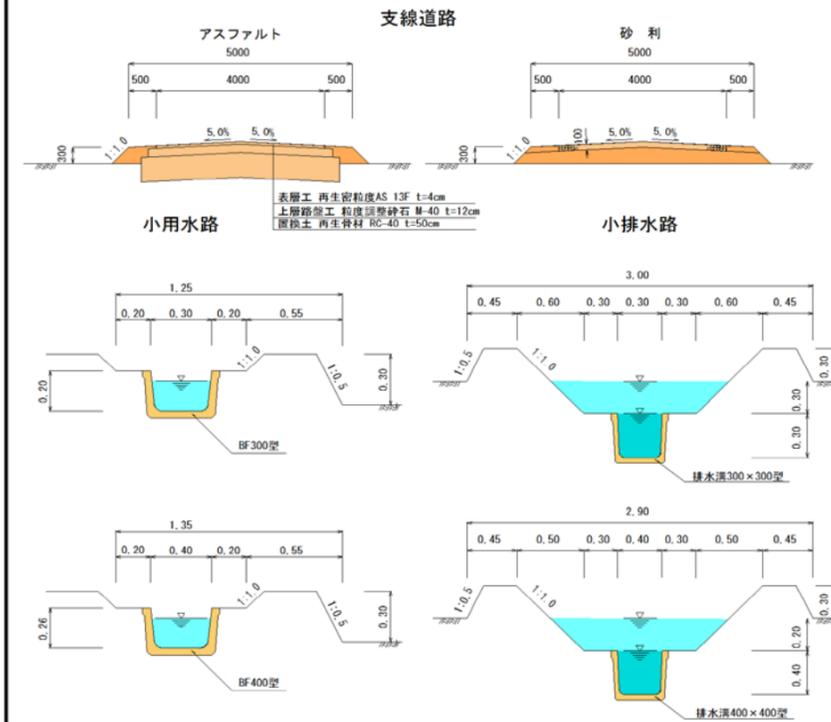
県内位置図



標準区画割図



標準構造図



写真②そばの作付け状況



凡 例	
---	地区界
■	田 12.0ha
■	畑 9.2ha
■	暗渠排水 6.9ha
■	国道(既設)
■	市道(既設)
■	支線道路(AS舗装)
■	支線道路(敷砂利)
■	小用水路
■	小排水路
■	側溝

非農用地内訳表 (㎡)			
番号	用途(敷地)	面積	換地の手法
①	児童園施設用地	1,890	不換地・特別減歩見合い創設換地
②	鉄塔用地	386	特定用途用地
計		2,276	

取得予定者  
社会福祉法人会津児童園  
東北電力

$$\text{総費用総便益比} = \frac{\text{効果(総便益) B}}{\text{費用(総費用) C}} = \frac{\text{B①} + \text{B②} + \text{B③} + \text{B④} + \text{B⑤}}{\text{C①} + \text{C②} + \text{C③} + \text{C④} - \text{C⑤}}$$

[費用項目]

- C①：当該事業における事業費
- C②：関連事業における事業費
- C③：受益地内で一体的に効果を発現する施設の再整備における事業費
- C④：事業着工時点でのすべての関連施設の資産価額
- C⑤：評価期間終了時点でのすべての関連施設の資産価額

[効果項目]

- B①：食料の安定供給の確保に関する効果（作物生産効果）  
 関連事業を含めた土地改良事業により農用地や水利条件の改良等がなされることに伴って、その受益地域において発生するとみなされる作物生産の量的増減を捉える効果額を現在価値化した便益額
- B②：食料の安定供給の確保に関する効果（営農経費節減効果）  
 土地改良事業により現況の営農技術体系や経営規模等が変化することに伴って、作物生産に要する費用が増減する効果額を現在価値化した便益額
- B③：食料の安定供給の確保に関する効果（維持管理費節減効果）  
 老朽化し機能低下の著しい土地改良施設を改築して近代的な施設にすることにより、維持管理費用が増減される効果額を現在価値化した便益額
- B④：農業の維持的発展に関する効果（耕作放棄防止効果）  
 土地改良事業により農用地の改良及び土地改良施設の更新に伴って耕作放棄の発生が防止され、作物生産や多面的機能が維持される効果額を現在価値化した便益額
- B⑤：農村の振興に関する効果（非農用地等創設効果）  
 面的整備事業において、換地手法を用いて先行的かつ計画的に公共用地等の非農用地を創設することにより、合理的かつ経済的に他の事業者が用地を取得できる効果額を現在価値化した便益額

[考え方]

総費用総便益比は、土地改良事業の経済性評価を行うもので、一定地域の範囲に於いて評価期間（当該事業の工事期間+40年）の下で必要な投下費用（総費用）とそれによって発現する総便益を対比することで測定を行う。  
 この総費用便益比が1.0以上であれば土地改良法施行令第2条第3号において「すべての効用がすべての費用を償うこと」とされている要件を満足するものとする。

[計算]

$$\text{総費用総便益比} = \frac{366,005 + 466,449 + \Delta 50,802 + 3,310 + 1,356}{702,250 + 0 + 103,206 + 0 - 36,300} = 1.02$$

## ○ 総費用総便益比及び所得償還率

小谷地区

## (1) 総費用総便益比及び所得償還率の総括

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総費用(現在価値化)	③=①+②	741,558 千円	
当該事業による費用	①	665,383 千円	
その他費用 (関連事業費+資産 価額+再整備費)	②	76,175 千円	
年償還額	④	2,357 千円/年	
うち機能向上分	④'	2,357 千円/年	
年総効果(便益)額	⑤	31,941 千円	
現況年総農業所得額	⑥	11,938 千円	
年増加農業所得額	⑦	36,885 千円	
評価期間 (当該事業の工事期間+40年)		50 年	工事期間10年
割引率		0.04	
総便益額(現在価値化)	⑧	757,244 千円	
総費用総便益比	⑨=⑧÷③	1.02	
所得償還率	⑩=④÷⑥	19.7 %	
増加所得償還率	⑩=④÷⑦	6.4 %	

## (2) 年効果額及び総便益額の総括

(単位千円)

効果項目	年効果額			総便益額
	機能維持	機能向上	計	
作物生産効果	12,654	142	12,796	360,964
品質向上効果				
営農経費節減効果	△ 2,298	22,359	20,061	446,501
維持管理費節減効果	4,387	△ 5,428	△ 1,041	△ 53,088
営農に係る走行経費節減効果				
耕作放棄防止効果	68		68	1,562
災害防止効果(農業関係資産)				
農業労働環境改善効果				
災害防止効果(一般資産)				
地域用水効果				
一般交通等経費節減効果				
地積確定効果				
国土造成効果				
非農用地等創設効果	57		57	1,305
災害防止効果(公共資産)				
水源かん養効果				
景観・環境保全効果				
都市・農村交流促進効果				
合 計	14,868	17,073	31,941	757,244